

問い合わせ先

第四管区海上保安本部海洋情報部

監理課長 寺井 博

電話 052(661)1611 内線 2510

平成25年6月27日



海洋台帳（海洋政策支援情報ツール）のバージョンアップ

海上保安庁が運用している「海洋台帳」は、昨年5月18日の公開以来1年が経過しましたが、この度、船舶通航量に関する詳細情報、波浪統計情報、水路測量特級区域情報※を追加するとともに、利用者が持つデータも表示できるようになりました。

「海洋台帳」は、海洋空間利用の促進を目的に、利用者が各海域の状況を迅速・的確に把握するためのツールとして、内閣官房の総合調整の下に政府一体として構築されたインターネット上のGIS（地理情報システム）サービスです。

昨年5月の公開以来1年が経ちましたが、これまでの延べ約300万件のアクセスがありました。

この度、公開1周年を機に、

- ① 利用者が保有する独自データを海洋台帳上に自由に重ねて表示・保存できる機能を追加
- ② 船舶通航量に関する詳細情報（日本船籍・外国船籍の種別及び船の全長）、波浪統計情報、水路測量特級区域情報を追加するなど機能の向上を図りました（付図参照）。

これにより、利用者が保有する独自データ（デジタルデータ）を「海洋台帳」に読み込むことで、データを地図上にプロットする作業が半自動化され、これらのデータを容易に地図上で表示して（重ね合わせて）参照することが可能となります。

また、新たな3項目の登録情報を追加したことにより、「海洋台帳」の登録情報は100項目になりました。

『海洋台帳URL： <http://www5.kaiho.mlit.go.jp/kaiyo/>』

※ 重要な航路で、特に精密な測量を必要とする区域のこと。

◆ユーザーが持つ独自データの読み込み、修正、保存機能の追加

海洋台帳に「自分が持つデータ」を重ねられます！

ユーザーが持つ独自データ

- 調査測線
- 調査海域

～対応可能なフォーマット～

- KML
- Excel
- csv,txt

ユーザーが持つ独自データを他の情報と重ね合わせ、検討した結果を保存！

◆船舶通航量の統計データの充実

➤背景画像による提供→ 任意の地点の船籍、全長別の通航隻数表示が可能に！

船舶通航量

緯度: 35.2945°N ~ 35.3070°N
経度: 139.5100°E ~ 139.5115°E

種別	数量
日本船	315
外国船	175
船種不明	0

種別	長さ
全長100m未満	209
全長200m未満	226
全長200m以上	52
長さ不明	3

船舶通航量: 480隻